

## <B1>知財翻訳体験談・ディスカッション

**what** : 翻訳業界の事情、そして再就職、女性、年齢などという条件をどう考え、生かすかについて考える。

**grade** : 翻訳をやりたいと考えている方

**goal** : 生活の中で、どのような形でどの程度、翻訳をやるかのビジョンを明確にし、これからやること、身につけるべきものを把握する。

### <内容紹介>

#### 1. 再び仕事を探している人へ

結婚、子育て、留学、遊学を終え、再び仕事を得ようと思っている人には、本当に好きだと思える仕事、自分のスキルと一致する仕事、一生できる仕事を選ぶことをお勧めします。

#### 2. お勤めをしている人へ

就職しているという利点を、今一度よく見つめなおし、生かせる部分は最大限に生かし、やりたいことにつなげていただきたいと思います。余暇で翻訳を勉強し、余暇で少しずつ仕事経験を積んでいくことも可能です。

#### 3. 文芸翻訳をされている、または目指している人へ

文芸翻訳を目指されている方には、その方なりの夢があるものと想像します。収入手段としてではなく、ライフワークとして、敬愛する作家の翻訳作品を出す、映画の字幕を絶妙に作って感動を生む、など、すばらしい夢を目指している方がいることと思います。しかし、それだけの英語力があったら、副業として、技術翻訳をやるのも気分が変わってよいのではないのでしょうか？技術翻訳で着実に稼ぎながら、本職の文芸翻訳を続けるというライフスタイルも可能ではないかと思えます。

#### 4. リタイア後の仕事として翻訳を考えている人へ

リタイア後の時間をどう使うかは、楽しくもあり、重要な問題です。「これだけはやりたい」と思うライフワークを実現されることが、大切だと思います。そして同時に「仕事」といえるものを持って、社会貢献・社会との接触・生活と心のリズムを持ち続けることは、種々の面でよい結果を生むことになると思われれます。英語力があるならば、ぜひ生かして、在宅でできる翻訳をされることをお勧めします。